

「日本東洋心身医学研究」投稿規定

「日本東洋心身医学研究」に論文を投稿される方は、本投稿規定を必ずお読みの上、ご投稿ください。本規定に準じない論文は受付をする前にご返却し、加筆・削除をお願いする場合がありますので、あらかじめご了承ください。

1. 投稿資格

本誌への投稿は原則として日本東洋心身医学研究会会員に限ります。ただし、依頼総説およびトピックスにおいてはこの限りではありません(依頼総説およびトピックスは原則として編集委員会が依頼します)。

2. 投稿内容

- 1) 総説, 原著, 臨床報告, 症例報告などで, 他誌に未発表のもの。
- 2) 日本東洋心身医学研究会で発表した内容のプロシーディング。
 その中で他誌に未発表のものは論文投稿できます。
 - ・総説 (review) : 漢方心身医学に関する研究を総括した論文。
 - ・原著 (original article) : 漢方心身医学に関する独創性・新規性の高い知見を有する論文。
 - ・臨床報告 (clinical report) : 原著に準じた研究や複数症例での研究報告。
 - ・症例報告 (case report) : 臨床に有用・貴重と考えられる症例の報告。
- 3) 倫理上問題のある論文は受け付けません。

3. 投稿に関する倫理基準

- 1) 対象者の名前はイニシャルであっても使用せず, 症例1など抽象名にする。
- 2) 年月日に関して, 契機となった病態での当該施設初診年あるいは初回入院年をX年とする。年齢はX年を基準とする。
- 3) 職業は対象者の理解に必要な程度で, できる限り抽象化する。
 例) 症例1 35歳, 男性, 会社員。X-3年, 職場で配置転換があり上司から叱責されることが増えた。X-2年全身倦怠感で近医A内科を受診した。X年, 症状改善なく当院を受診した。心身の過緊張が認められたため四逆散を投与した。(中略) 2年後の現在でも良好な

状態が続いている。

- 4) 症例報告では同意(口頭でも可)を取得することとする。その内容は, 対象者の権利を侵害しない旨を含むものとする。

4. 利益相反(COI)に関する指針

掲載論文の公正性・信頼性を担保するため, 責任著者は投稿に際し別紙「筆頭著者の利益相反自己申告書」に利益相反(COI)の該当状況, また, 該当のある場合はその企業名・団体名などをご記入の上, 論文投稿の際にご提出ください。

なお, COIの有無が論文の採否に影響することはありませんが, 掲載論文の末尾にCOI関係を記載してください。

〔利益相反のある場合〕

本論文に関連して, 開示すべき利益相反(COI)状態にある企業・組織や団体の提示。

例) 漢方一郎: 講演料など(株式会社○○), 東洋二郎: 原稿料など(△△株式会社)

〔利益相反のない場合〕

例) 利益相反に関して開示すべきものなし。

5. 原稿の採否

原稿の採否は編集委員会にて査読し, 決定します。

6. 執筆要領

- 1) 論文の長さ, 体裁は下記の通りとします。
 - ・表紙: 表題, 著者名, 所属, 責任著者の連絡先住所(すべて和英併記)。
 - ・和文要約: 400字程度。
 - ・英文抄録(Summary): 250語程度。
 - ・索引用語(Keywords): 3~5語(和英併記)。
 - ・本文と文献。

「総説」, 「原著」, 「臨床報告」, 「症例報告」原稿は引用文献を含めて6,000字以内(図表はあわせて5点以内, 1点400字換算として含む)とします。原著の形式は「はじめに」, 「対象および方法」, 「結果」, 「考察」, 「まとめ」とします。

「プロシーディング」原稿は引用文献を含めて3,200字以内(図表は1点400字換算として含む)とします。

- 2) 原稿と電子媒体の両方をお送りください。

なお、原稿(図表を含む)は必ず2部ずつお送りください。その他に投稿者のお手元にコピーを1部保存してください。

- 3) 原稿は常用漢字、新仮名づかい、横書きではっきりした字体で書いてください。
- 4) 外国の人名、薬品名は原語、術語は邦語を用い、まぎらわしいものは()内に原語を書いてください。
- 5) 投稿にあたり別紙の「投稿申請書」、「自己申告によるCOI報告書」を提出願います。

7. 図、表、写真

本文原稿とは別にし、文中に挿入位置を明記してください。図表はトレースしたものか、鮮明なもので、そのまま製版可能なものとし、写真は白黒印画紙とします。

8. 引用文献

必要最小限度とし、引用順にして、本文中の引用部位に肩番号を付けてください。

書き方は次の形式に準じます。

〔雑誌の場合〕

著者名(3名まで)：題名、雑誌名 巻数：始頁-終頁、発行年

〔書籍の場合〕

著者名：題名、書名(编者あるいは著者名)、発行所、発行地、始頁-終頁、発行年

※誌名は公の略称を用いてください。

※著者数が3名を超える場合、4名以上は(英文では「et al.」、日本文では「他」のように)省略してください。

9. 漢方処方名および東洋医学用語の英語表記

- 1) 漢方処方名は日本東洋医学雑誌の規定に準拠し、漢方処方名ローマ字表記法あるいは構造表記法を用いてください。いずれも日本東洋医学会HPよりダウンロードできます。
(<http://www.jsom.or.jp/medical/magazine/toukou.html>)

ただし構造表記法を用いる場合、初出時には漢方処方名ローマ字表記法を記載し、構造表記法を併記するものとしてください。

なお、生薬名は日本薬局方の「医薬品各条(生薬等)」にある各生薬の英語表記を用いてください。

- 2) 東洋医学用語は日本東洋医学会発行の「入門漢方医学(Introduction to Kampo)」を参考にしてください。

日本東洋医学会が用語および病名分類委員

会で策定中の「漢方用語集(英語対応表)」の公表後はこれを参考元とすることとします。

用語の適切な英訳を見出せない場合には「WHO international standard terminologies on traditional medicine in the Western Pacific Region (2007)」を参考にしてください。

- 3) 漢方の原典の条文を記載する場合は、本文中に原典の出典を必ず記載してください(この出典は引用文献に必ずしも記載する必要はありません)。

また、原典の条文を英文で記載する必要がある場合には、参考にした英訳原典を引用文献に必ず記載してください。

- 4) 薬剤名は原則として一般名を用い、商品名は一般名の後に「一般名(商品名®)」のように記載し、漢方製剤は原則として次のように記載してください。

例) 五苓散エキス顆粒(TJ-17)7.5 g/日, 分3)

10. トピックス、エビデンスレポート

学術集会などで発表された漢方治療に関するトピックス、エビデンスレポートを中心に、編集委員会からの依頼に基づいて執筆される原稿です。会誌への掲載に際して査読審査を行います。

論文の長さ、体裁は下記の通りとします。

表題、氏名、所属(すべて和文、英文併記)連絡先住所をつけてください(英文・和文抄録、Keywordsは不要です)。

本文は引用文献を含めて6,000字以内(図表はあわせて5点以内、1点400字換算として含む)とします。

本形式の論文はその性質上、以下の場合が想定されますのでご留意の上、適宜ご対応ください。

〔すでに他誌に論文が掲載されている、あるいは掲載が決定している論文をトピックスとして今回投稿する場合〕

本誌掲載の際、脚注として、すでに他誌に掲載されている、あるいは掲載が決定している論文が存在する旨を明記してください。①著者名、②題名、③雑誌名、④巻数、⑤発行年、⑥始頁-終頁の形式とし、該当箇所のコピーを同封してください。

図表の再使用については、先行刊行物の著作権保持者の許可がとれた場合、再使用可能とします。その際、引用箇所(筆頭著者名、発行年)を明記してください。

[他誌に論文として近く投稿予定の場合]

二重投稿に抵触する可能性に配慮し、図表については論文への掲載を優先するなど、全く同一のものにならないよう適宜ご対応ください。

二重投稿については、投稿先での判断に委ねられます。抵触する可能性が懸念される場合、必ず投稿先にお問い合わせください。

11. その他

- 1) 本誌に掲載された論文の複製権(コピーライト)は日本東洋心身医学研究会にあります。必要な方はお申し出ください。
- 2) 別刷は50部単位で実費作成とします。

12. 原稿締切日

毎年6月30日をもって原稿締切日とします。それ以降受理された論文は原則として次号掲載となります。

13. 著作権の帰属

本誌に掲載された論文の著作権は日本東洋心身医学研究会に属します。

14. 原稿送付先

原稿は書留郵便、または宅配便にてお送りください。また、下記メールアドレスでも投稿を受け付けております。ご使用機種、プログラムソフトなどを明記の上、投稿申請書など、書式一式とあわせてお送りください。なお、郵送中の事故なども考慮し、バックアップのデータをお手元に保存してください。お送りいただいたデータは原則としてご返却しません。あらかじめご了承ください。

〒101-0054 東京都千代田区神田錦町3-11-8
NMF竹橋ビル1階
株ライフ・サイエンス 編集部
日本東洋心身医学研究 係
Tel. 03(6811)0877/Fax. 03(6811)0878
e-mail. pm@lifesci.co.jp

筆頭著者の利益相反(COI)自己申告書

(コピー可)

著者名: _____

論文題名: _____

(投稿時から遡って過去1年以内での発表内容に係る企業・組織または団体とのCOI状態を記載)

項目	該当の状況	有であれば、著者名：企業名などの記載
①報酬額 1つの企業・団体から年間100万円以上	有・無	(記載例, 日本太郎: ABC製薬)
②株式の利益 1つの企業から年間100万円以上, あるいは 当該株式の5%以上保有	有・無	
③特許使用料 1つにつき年間100万円以上	有・無	
④講演料 1つの企業・団体からの年間合計50万円以上	有・無	
⑤原稿料 1つの企業・団体からの年間合計50万円以上	有・無	
⑥研究費・助成金などの総額 1つの企業・団体からの研究経費を共有する 所属部局(講座, 分野あるいは研究室など) に支払われた年間総額が200万円以上	有・無	
⑦奨学(奨励)寄付などの総額 1つの企業・団体からの奨学寄付金を共有する 所属部局(講座, 分野あるいは研究室など) に支払われた年間総額が200万円以上	有・無	
⑧企業などが提供する寄付講座 (企業などからの寄付講座に所属している 場合に記載)	有・無	
⑨旅費, 贈答品などの受領 1つの企業・団体から年間5万円以上	有・無	

(本COI申告書は論文掲載後2年間保管されます)

(申告日) _____ 年 月 日

(署名) _____ (印)